

あなたの節電が地球環境を守る

東日本大震災の影響で原子力発電所が運転を停止し、全国的に慢性的な電力不足が生じています。今年はすでに気温が30度を超える真夏日も記録し、冷房の需要が伸びて電気使用量が増えています。

現在、総発電量に占める火力発電の割合は約9割と非常に高くなっています。火力発電による二酸化炭素排出量は原子力発電の約20～50倍といわれています。地球温暖化への影響が懸念され、地球環境を守るためには節電して発電量を減らす必要があります。一人一人の取り組みが大きな効果を発揮しますので、節電に積極的に取り組みましょう！



アサガオのグリーンカーテン 天井の蛍光灯を間引き

市施設の節電の取り組み

市ではエアコンの使用を減らすため、建物内の窓を開けて扇風機を使うなど、自然風を取り入れて室温管理を行っています。エアコンを使用する場合は、設定温度を国が勧める節電対策に基づき28度になっています。夏の冷房時は温度設定を1度上げると約13%（約70W）の消費電力が削減できるといわれ、多くの冷房機器を備える公益施設では、その

効果が大きくなります。職員は上着やネクタイを着用しないクールビズを5月1日から実施しています。照明は通常2本ある蛍光灯を1本取り外したり、省エネ型の照明器具を採用したり、昼食時には消灯して節電に努めています。

日当たりのよい窓には、よしずやグリーンカーテンを設置し、室温の上昇を抑えています。

節電で電力ピークを抑制

今夏、私たちが住んでいる東北電力管内は、数値目標を伴わない節電が求められています。電気は発生と消費が同時に行われるため、大量にためておくことができません。このため、あらかじめ消費する電気を予測して発電が行われます。



大越町 会田 信 悟 さん

夏は電力消費が一番多い季節です。一日のうちでは、人々が活動を始める朝の時間帯と気温が高くなる13～15時ごろ、そして夕食時が電力消費のピークになります。この時間帯に節電を意識すれば、電力不足を回避することができます。

住宅用新エネルギー設備等設置費の補助

市では、太陽光発電システム・太陽熱利用システム・ペレットストーブを導入する方に設置費の一部を補助しています。

- 補助金額
 - ①太陽光発電システム 1Kw当たり2万円（4Kw上限8万円）
 - ②太陽熱利用システム 設置に要する経費の10分の1（上限8万円）
 - ③ペレットストーブ 設置に要する経費の10分の2（上限8万円）
- 受付期限 27年2月27日
- 予定件数 90件程度
- ②太陽熱利用システム 2件程度
- ③ペレットストーブ 2件程度

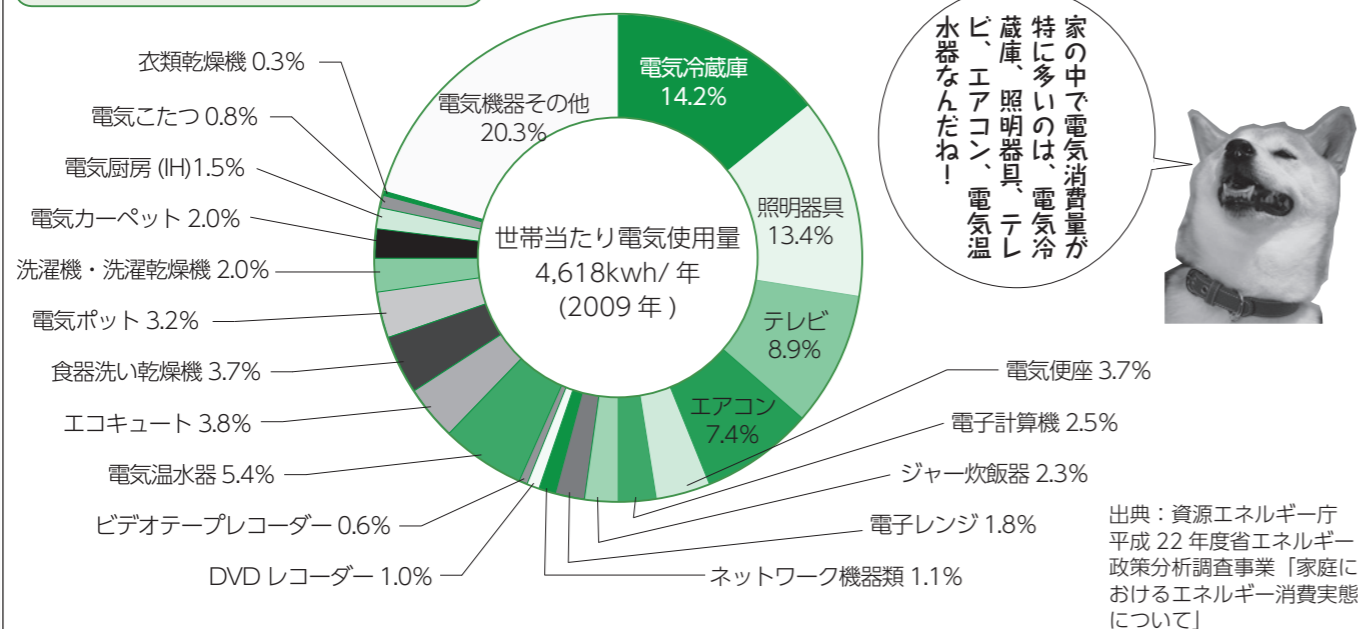
●その他

申請件数が多数の場合は、予算額に到達次第締め切ります。予算額を超えた日（消印または持参日）の申請は抽選になります。

●問い合わせ 総務部企画課 ☎81・2135

ご家庭での節電にご協力ください

家電製品別の消費電力量の比較



家庭ですぐできる夏の節電 21のポイント

分野	No.	対策	チェック
遮熱・断熱等	1	窓に空気層のある断熱シートを貼る（もしくは内窓を設置する）	<input type="checkbox"/>
	2	部屋の外によしず、すだれを設置する	<input type="checkbox"/>
	3	お風呂の残り湯で朝夕に打ち水をする	<input type="checkbox"/>
冷房	4	扇風機・うちわなどを活用する	<input type="checkbox"/>
	5	冷房の温度設定を28℃にする	<input type="checkbox"/>
	6	冷房時にカーテンやブラインドを閉める	<input type="checkbox"/>
	7	冷房時に家族が一緒に部屋で過ごす	<input type="checkbox"/>
	8	エアコンのフィルターを清掃する（月2回程度）	<input type="checkbox"/>
	9	冷房を使う時間をできるだけ短くする（就寝前1時間はオフなど）	<input type="checkbox"/>
	10	冷房時に部屋のドアやふすまを閉め、冷房範囲を小さくする	<input type="checkbox"/>
照明	11	白熱電球を電球型蛍光灯やLED電球に交換する	<input type="checkbox"/>
	12	照明を使う時間を可能な限り短くする	<input type="checkbox"/>
テレビ	13	テレビを見る時間を少なくする（つけっぱなしにせず、見る番組を絞るなど）	<input type="checkbox"/>
	14	テレビの画面を明るすぎないように調整する	<input type="checkbox"/>
保温	15	電気ポットの保温をやめる	<input type="checkbox"/>
調理	16	炊飯ジャーの保温をやめる	<input type="checkbox"/>
冷蔵	17	冷蔵庫を壁から適切な距離を離し、周りや上にものを置かない	<input type="checkbox"/>
	18	冷蔵庫の温度設定を強から中にする	<input type="checkbox"/>
	19	冷蔵庫を整理し、開ける時間を短くする	<input type="checkbox"/>
乾燥	20	衣類乾燥機や洗濯機の乾燥機能を使わない	<input type="checkbox"/>
待機電力	21	電気機器は使い終わったらプラグを抜くか電源タップを切り、待機電気を減らす	<input type="checkbox"/>

出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)